

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための市議会の取組を紹介します

■新型コロナウイルス感染症対策会議を開催しました■



この会議では、齊藤市長に対し、県及び市の休業要請施設対象外のため休業協力金の支給対象とならなかった事業者へ事業継続の支援金給付を求める要望を市議会として行うことを確認しました。また、6月定例会の開催に向け議会運営の在り方や議員活動等について議論をかわしました。

■齊藤市長に要望しました■

上記会議にて確認した要望内容について、熱海市議会として齊藤市長に要望を行いました。要望の結果、休業協力金（県及び市）の対象外業種で令和2年4月又は5月分の減収割合が50%以上の事業者に対し【中小企業者応援給付金】として10万円支給の実施が決定し、申請の受付を行いました。



6月定例会での取組



※出席者の人数調整を行い密集の防止

6月定例会における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、議会運営委員会にて確認し、本会議及び委員会は【3密】にならないよう対策を講じて実施しました。

出席予定者は、体調に留意し、体調が優れない場合は出席を控えることを確認し、全員が手指を消毒したうえで入場すること、そしてマスクの着用を徹底しました。また、休憩時には換気を行い、各議員が質問を行う場合は、時間や内容に配慮することはもちろんのこと、出席人数についても、密集を防ぐために調整を行ったうえで開催しました。

市民の皆様の安全を確保するため、傍聴の在り方についても検討し、2月定例会に引き続き6月定例会も【傍聴の自粛】をお願いしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の自粛に御協力いただいた皆様に、感謝申し上げます。

また、傍聴に来られた方も、マスクの着用や手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保に御協力いただきましてありがとうございました。



※傍聴受付は飛沫防止対策を実施



※傍聴席は間隔をあけて密集防止

引き続き、市議会では新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に力を入れて参ります。